



環境保健研究所 かわらばん No.3

平成30年 8月17日



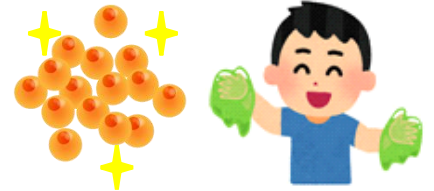
千葉市環境保健研究所

みなさん、こんにちは！

環境保健研究所では平成30年7月26日(木)に「夏休み教室 科学にチャレンジ」を開催しました！小学校5・6年生25名に参加していただきました。

今年のテーマは、『光るイクラをつくろう！～食品添加物の性質～』（健康科学課）、『びっくり電池とスライムをつくろう』（環境科学課）です！

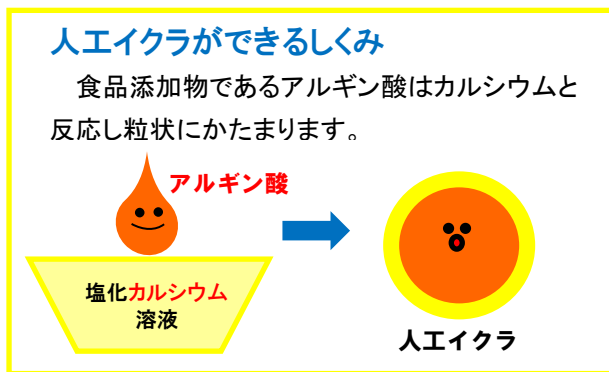
かわらばんNo. 3では夏休み教室の内容を紹介していきます。



『光るイクラをつくろう～食品添加物の性質～』（健康科学課）

1.人エイクラはどうやってできるの？

人エイクラは、食品添加物であるアルギン酸を使用します。液状のアルギン酸はカルシウムと反応し固まるため、丸い粒状のイクラを作ることができます。本物のイクラと人エイクラの違いや、人エイクラの作り方について学びました。



光るイクラ をつくろう

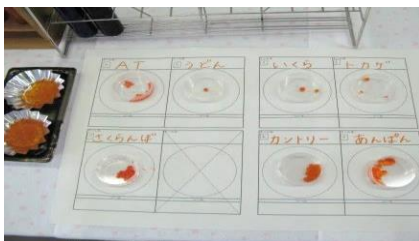


着色料の中には、紫外線をあてると光る色が存在します。今回12種類の着色料の中から、光る色を探し出し、それを使って光るイクラを作りました。

2.本物にそっくりなイクラを作ろうコンテスト開催

事前に駒込ピペットやメスシリンダーの使い方を練習し、12種類の着色料を用いてそれぞれのチームが工夫しながら、上手にイクラを作ることができました。

チームごとに、1番本物のイクラに近いと思う人エイクラを提出して、全員で投票を行いました！



3.どれが本物のイクラかあてようクイズ！

コンテストで1位になったチームの人エイクラ、講師が作ったイクラ、本物のイクラを並べてどれが本物かチーム予想しました。中には巨大イクラも！？



『びっくり電池とスライムを作ろう』(環境科学課)

環境科学課の「夏休み教室」は2本立てです！身近にあるものを使って作る「びっくり電池」と、伸びたり膨らましたりして遊ぶことのできる「スライム」を作りました。身近なものや触って楽しいものを通じて、科学の不思議や楽しさを体感することができました。

1. びっくり電池を作ろう

みんなで身近にある炭と食塩水を使ったびっくり電池を作り、オルゴールを鳴らしました。びっくり電池で電気が流れる仕組みを学び、よく使う乾電池の仕組みと比べてみました。

その後は、みんなで工夫して、もっと強力な電池を作り、オルゴールをより大きい音で鳴らすことができました。



何で電気が流れるのだろう？

2. スライムを作ろう

洗濯のりとうほう砂を使ってスライムを作りました。絵の具で色をつけたり、いろんな硬さのスライムを作ったりしました。また、スライムが日常生活のどのようなどころで応用されているか、一緒に勉強しました。

参加してくれた小学生にスライムは大人気で、みんなから「楽しかった」や「来年もスライムを作りたい」、「今度は光るスライムを作りたい」などといった意見をいただき、職員一同、うれしい思いでいっぱいになりました。



上手に膨らんだね！

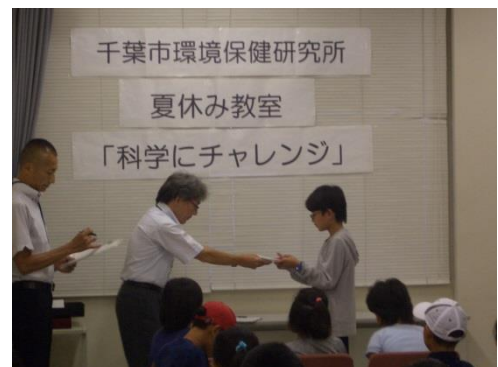
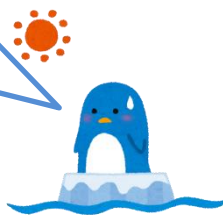


スライム見て見て～♪

～閉会式～

閉会式では、環境保健研究所長より、「こども科学博士」の称号が授与され、「夏休み教室」は無事終了しました。

来年は君も参加してね！！
暑いから、体調に気をつけて！！
次回は、10月に更新予定だよ☆



連絡先



千葉市 環境保健研究所 健康科学課
〒261-0001 千葉市美浜区幸町 1-3-9
千葉市総合保健医療センター1階
Tel : 043-238-1900 FAX : 043-238-1901
e-mail : kenkokagaku.IHE@city.chiba.lg.jp
HP : https://www.city.chiba.jp/hokenfukushi/kenkou/khoken/kkagaku/ihe_index.html

